

## 69歳の挑戦、感想記

まず、はじめに縦断走の仲間、応援隊、エイドを設営してくれた皆さんにお礼と感謝を申し上げます、本当に有難うございました。

この年になってからこのような長い走り旅を想像した事が無く  
どうなる事かと心配を抱えて宗谷に向かいました。  
宗谷岬に立ちいざスタートするときには体力的には厳しいものが有るが  
森塚さんが設定した道を走り歩いて佐多岬にはたどり着きたい思いが  
募りました。

北海道では大自然を満喫しようと初日を迎えました。雨、風に  
苦しめられてこれからの走り旅の大変さを思い知りました。  
走りながらマイペースと思いながらも午後になると到着時間が気になりだして  
頑張ってしまう翌日に疲れを残す羽目の繰り返しでしたが何も無く  
通過する事が出来ました。靴の裏の減るのが激しかったです。  
また、美味しい物も食べたいと思いながら走りましたが時間的に無理でした。

東北ブロックでは北海道の疲れが出てきて山道は苦しめられました。が  
試走会を経験している分だけ余裕が有りました、街道の面影がいたるところに有  
り引き寄せられました。  
街道は良いが国道を走るのは何故か物足りない物があり退屈をしてしまいました。

北関東ブロックはGP探しで何回となく走り、歩きましたがそれでも  
街道を走るのには良いものだと思います、また、自分が探したGPも再度  
確認しながら見る事が出来ました。  
台風に阻まれた宇都宮ではどうなる事かと思いましたが時間調整で何とか  
切り抜けましたが自分にとっては今までで一番しんどい思いをした一日でした  
が仲間がエイドをしてくれるとゆう事で頑張れたのかな。  
自宅に帰って来てから驚いたのは氏家宿でうどんを食べながら  
昔話をしながら過ごした友が無くなっていた事です。

東海道ブロックでは今まで何回か自分なりに走った事が有りましたが今回ほど街道に忠実では無く思いのほか大変な部分もあり特に岡崎宿の27曲りは苦戦するかと思いましたが案内多く間違え事が無く気が抜けてしまいました。

東海道に入りエイドが多く成り非常に助けられました。特に箱根越えでは雨の中大変な思いをして自分たちを支えてくれる仲間がいる事を思い知らされました。

山陽道ブロックは地図とにらめっこが非常に多かったと自分なりに感じていますが、それは都市部が苦手な部分が有るからなのかな。体もだんだんと疲労がたまり体重がかなり減りましたがもともと食が細いので食べようと思っても量を食べる事が出来ず仲間の食欲には驚きでした。途中では栄養ドリンクを飲んだりしてしのぎました。

九州ブロックではいよいよ最後のステージと思いましたが体が有ることを聞いてくれなくなり苦しめられるし、峠は有るし大変でした。

最後の3日間は体の限界と思い写真の撮影を越田さんをお願いして自分は走るだけに専念しようかと思いましたがそれでも自分のたどった所だけは残したいと思い最小限の撮影をした次第です。

鹿児島から大根占までは試走会で走れない部分が有りましたが走れ、また、最後の山道では心配をおかけしましたが最後まで自分の思いをと通す事が出来良かったです。

佐多岬に到着した時は余り感激しませんでした。妻に到着の連絡を入れておめでとう、ご苦労さんと言われたら感激が湧き佐多岬からは皆と離れて泣きながら歩く羽目になりました。

食事が終わり反省会では皆の話を聞いて居る内に感激がこみ上げて何も話す事が出来なくて申し訳なく思いました。

この機会を与えてくれた森塚さん始めに準備にかかわった皆さんに感謝する次第です。